AR (Automated Recognition) シリーズ 機械学習用GPU

Macについて

3台ありますが、すべてAR3(2019/Jan/31作成)のクローンです。ネットワーク上ではAR1, AR2, AR3と名前を変えています。

NVIDIAのGPUボードをアップルがサポートしなくなり、その中で最新版のソフトが動く状態になっています。なので、システムをアップデートしないでください。

誤操作を防ぐためにパソコンへのアクセスはSSHターミナルとSFTP(ファイル転送)でお願いします。

推奨するソフトウエアは、

SSH: Termius SFTP: Filezilla

です。

Pythonの利用方法: jupyter notebookを想定しています。

1) SSH ソフトでPort Fowarding します。

ARシリーズがオープンするJupyter notebookの画面を、自分のパソコンに直接表示するためです。

設定*1が済んでいれば、ダブルクリックして接続を確認する。

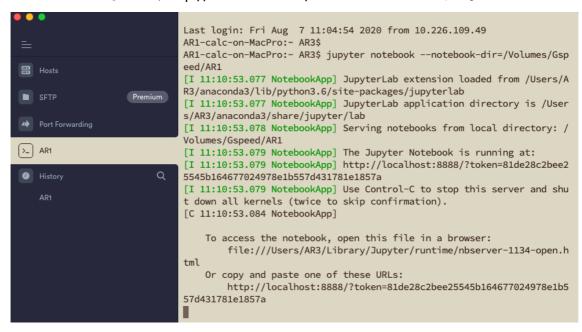
2)SSH ソフトでSSHターミナルを開きます。

AR_X machineにログインします。設定*2が済んでいれば、自動的にjupyter notebook を指定されたディレクトリーで起動します。AR1の場合は

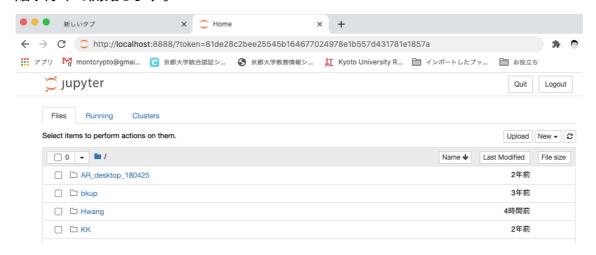
AR1-calc-on-MacPro:~ AR3\$ jupyter notebook --notebook-dir=/Volumes/Gspeed/AR1

サーバー	Jupyter notebook 開始コマンド	
AR3	jupyter notebooknotebook-dir=/Volumes/G-SPEED3/AR3	
AR2	jupyter notebooknotebook-dir=/Volumes/G-SPEED2/AR2	
AR1	jupyter notebooknotebook-dir=/Volumes/Gspeed/AR1	

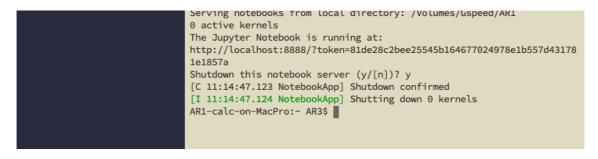
ターミナル上に現れる、http://localhost:8888/....のラインをコピーする。



3) 自分のパソコンのブラウザを開き、アドレス欄に先ほどコピーしたコマンドラインを貼り付けて開始します。



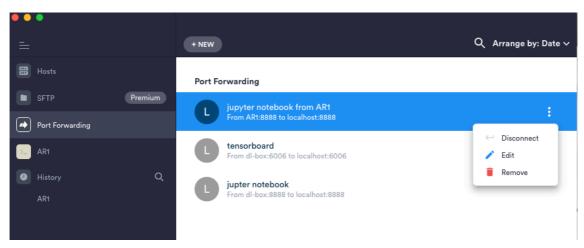
4) 計算が終了したら、必ず、SSHターミナルにもどり、CTL-Cを押してプロンプトを表示させ、y(yes)を入力してnotebookのカーネルを終了します。



最後にlogout と入力して終了。

AR1-calc-on-MacPro:~ AR3\$ logout

5)Port Forwardingを終了します。Disconnectを選択。



計算用のデータの転送:

新しいサイト(N)

新規ブックマーク(M)

削除(D)

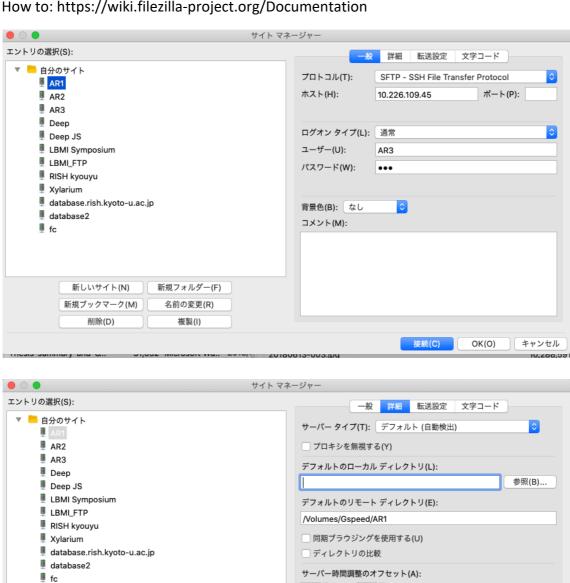
新規フォルダー(F)

名前の変更(R)

複製(I)

1) FileZilla を接続します。設定*3が済んでいれば、各々のARの作業ディレクトリに直 接アクセスできるので、そこにある自分のディレクトリにアクセスして適切なディレク トリなどを作成して、データの保存や削除をしてください。

How to: https://wiki.filezilla-project.org/Documentation



0 🗘 時間 0 🗘 分

接続(C)

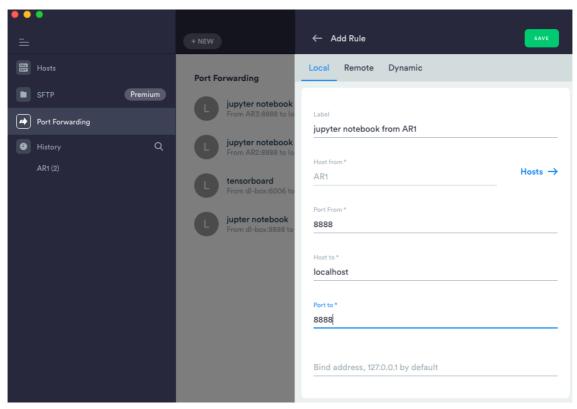
キャンセル

OK(O)

設定*1

この設定は設定*2の後で行いましょう。

+NEWを選択

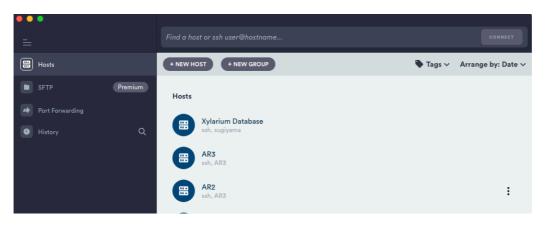


目的:AR1のjupyter notebook用のポートを開きます。

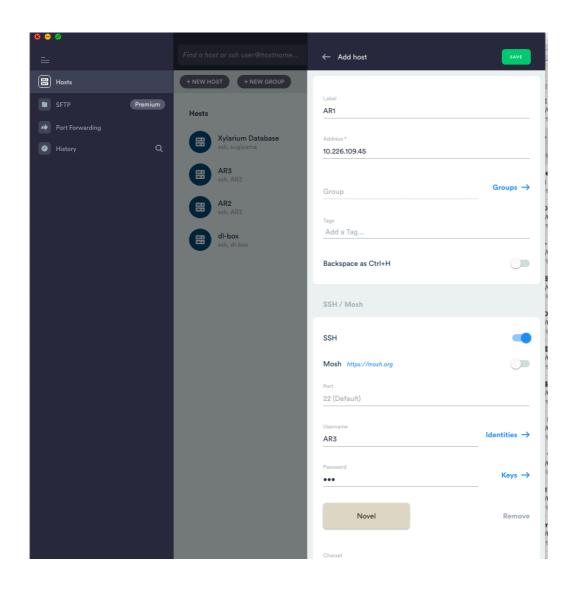
ホストはAR1を選択、8888からlocalhostの8888に繋ぐという意味で、順番にいれます。 最後に保存。

設定*2

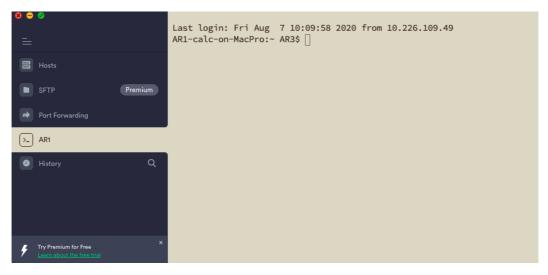
+NEW HOSTを選択し、AR1を設定



サーバーの名前、IPアドレス、Username, Passwordを入力して保存(右上のsave)。



新しくできたAR1サーバーを起動させると、



自動的にログインされ、コマンドラインのプロンプトが出ます。 以下必要な情報として

サーバー	IP address
AR3	10:226:109:47
AR2	10:226:109:46
AR1	10:226:109:45

Username: AR3, Password: AR3

設定*3

Filezillaの設定

How to: https://wiki.filezilla-project.org/Documentation

1)SFTPの新しいホスト設定を選ぶ。

2) Username: AR3, Password: AR3でログインする。

3)リモートディレクトリを以下の通りとする。

サーバー	IP address	FTP のリモートディレクトリ
AR3	10:226:109:47	/Volumes/G-SPEED2/AR3
AR2	10:226:109:46	/Volumes/G-SPEED2/AR2
AR1	10:226:109:45	/Volumes/Gspeed/AR1

その他:VPNを使って自宅から操作する場合:

Ikev2-1.kuins.kyoto-u.ac.jp 経由で樹木細胞の VLAN にアクセスするには管理者の許可が必要ですので、希望者は栗野先生まで。